

# 創立 91 年 広島国際学院 報

建学の精神  
教育は愛なり

第 107 号

平成 30 年 9 月 発行



## 特集 中学校オープンスクール

### 目次

特集 中学校オープンスクール	1
特集 大学・短大オープンキャンパス	2
試行錯誤が生む大きな成果 工学部	3
地域・世界との交流が導く未来 情報文化学部	4
輝く未来へ学習・体験を重ねて 総合教育センター	5
知識と交友を力に前進 短期大学部	6
高校から発信	7・8
広島国際学院中学校 (平成 31 年春開校予定)	9
教育実習	10
留学生交流会	10
漢城大学校との学術交流協定を締結	11
学校法人広島国際学院記念行事について	11
西日本豪雨災害における 本学院の被害状況について	11
今後の行事予定	11

### 高校から発信

知識と交友を力に前進

### 短期大学部

輝く未来へ学習・体験を重ねて

### 総合教育センター

地域・世界との交流が導く未来

### 情報文化学部

試行錯誤が生む大きな成果

### 工学部

特集 中学校オープンスクール  
大学・短大オープンキャンパス



書道部が歓迎のパフォーマンスを披露

6月10日、広島国際学院中学校開校に向けて、初のオープンスクールを開催しました。

来年の開校を予定している本校中学校の教育方針、学習プログラムの詳細、そして小学生を対象とした体験授業など、本校が今後目指していく中学校教育の一部を披露しました。

第1回目のオープンスクールでは、本校独自の特色教育である「百錬錬磨（ひゃくせんれんま）」と呼ばれる総合学習を紹介しました。

社会の有意な形成者として、自らの能力、そして社会性を磨くこととなる中学生。本校の中学校3カ年の教育活動では、生徒た

ちに様々な経験をさせ、グローバル社会に対応できる人材を育成する学習活動を用意しました。もちろん、名前のごとく体験できる学習活動は数多く準備されています。百錬（＝圧倒的な数を誇る各種実践という意味）を通して、技芸、学問を身につけ、他校にはみられない大きな成長ができるようサポートしていきます。

また、中学校3カ年の授業時数も発表。公立中学校で設定されている授業時数を遙かに超える充実した時間数も紹介しました。その他学費、奨学金関連など保護者の皆様にとって必要な諸経費についても紹介。充実した教育内容、環境に見合う学費を保護者の方々にアピールしました。



プログラミングの体験授業

オープンスクール前半における学校説明が終わると、児童生徒/保護者の2手に分かれ、講演会および体験授業を開催しました。

保護者の方には、本校でのプログラミング教育をご指導いただいております、東京大学大学院の越塚先生の講演会を実施。今後多方面でその利用が求められていくICT、IoTの活用についてご講演していただきました。

児童生徒の皆さんには、本校の中学生気分を体験してもらうことを目的として、模擬体験授業を実施しました。今回は、国語・算数・理科・社会・英語の授業に加え、百錬錬磨の一つであるプログラミング学習を開催しました。初めて経験する中学校の勉強に少し戸惑いながらも、実施して下さった先生方やサポート役であった高校生の皆さんのアドバイスを基に、少しずつ馴染んでもらったと思われます。各教室では、真剣な雰囲気に加え、和やかで笑いの絶えない授業風景もみることができました。

実際、来年完成する中学棟校舎で、ここで参加されたみなさんの明るい声と笑顔がたくさんみられることを期待してやみません。

第1回目のオープンスクールには、300名以上の児童生徒、保護者の方、そして学校・塾関係者の皆様に足を運んでいただきました。今後も説明会、オープンスクールを準備し、受験を検討されている方々へのアピールを実施する予定です。

本校中学校の大きな目的は、学力と人間力を兼ね備えた優秀な人材を養成していくこととしております。これからの中学校教育にご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



理科の体験授業

## 大学オープンキャンパス ～アットホームな雰囲気でおもてなし～

7月28日のオープンキャンパスは、豪雨災害の影響が残る中、JR海田市駅から臨時バスを運行し、昨年に近い数の参加者に来場いただきました。

全体説明会に続き、生産工学科ではスターリングエンジン、キネクトやドローン、ピザづくり体験など。情報デザイン学科ではデザイン、ゲーム、プログラミング、VR、イラストの体験など。現代社会学科では経営や社会福祉などをテーマに模擬ゼミナールなどが行なわれました。また写真部、美術研究部、電子計算機研修会の文化系サークルの展示や表千家流茶道部によるお茶席、さらに留学生の説明会など、多彩な内容でお迎えしました。



全体説明会



撮影スタジオでのVR体験授業

オープンキャンパスは、高校生・受験生に本学の教育内容や雰囲気などを直接知ってもらえる機会です。参加者がその後の受験を経て、入学に結びつく割合も高く、お迎えする教職員や在学生スタッフも全力で対応しています。



パーソナルモビリティの体験(生産工学科)

## 短大オープンキャンパス ～各社との連携でスペシャルな体験を～



エンジン整備実習



バイクの整備実習

今年度のスペシャルオープンキャンパスは各メーカーの自動車ディーラと連携し、いろいろなイベントを開催しております。

8月4日は、日産プリンス広島販売の方をお招きし、新型リーフの「プロパイロットパーキング」を紹介していただきました。ボタン一つで自動駐車できる新技術で、高校生が同乗し体験してもらいました。

また、説明会も本学のことだけでなく、卒業後に就職する職場環境のことなどもご紹介いたします。参加すれば、他では知ることのできない情報も知ることができます。

なお、体験型のイベントも同時に開催中です。「エンジンの整備」「バイクの整備」「板金・塗装の整備」「車の足回りの整備」「トヨタ86の運転体験」と興味を持ってもらえるイベントばかりです。



運転体験



企業イベント

## 生産工学科新入生歓迎オリエンテーション

生産工学科の新入生オリエンテーションを行いました。

全員の自己紹介などを行い、その後、外に出てみんなでバーベキューをしました。天候にも恵まれ、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。上級生も参加して、情報交換したりサークルの勧誘があったりと、それぞれ思い思いの時間を過ごしました。

導入教育プログラム「自己の探求」や今回のバーベキューを通じて仲良くなった仲間と4年間楽しく過ごしてもらいたいと思います。



青空の下でバーベキューを堪能

## パーソナルモビリティ 作ってみました！



制作にあたる学生たち

最近「パーソナルモビリティ」が注目されているのをご存知ですか？生産工学科では近年、卒業研究でパーソナルモビリティを作っています。

パーソナルモビリティといっても色々なタイプがあります。立ち乗りタイプはちょっと怖いので、最初は座り乗りタイプを想定して研究を始めました。二輪でバランスをとるタイプです。

まずは小さな模型レベルでの実験をし、うまく制御するための問題点などを洗い出します。人が乗れる大きさにスケールアップして設計し、材料を用意。あとは切ったり接着したりと地道な工作が続きます。マイ

コンや、自作の電子回路などを作り、配置を決めて…完成！といきたいところですが、このままでは人が乗れません。これから棚板の位置や制御定数などの調整に入ります。小さなものと大きなものでは使う電力も桁違い。危うくモーターを焼いてしまうところでした。温度センサーも入れないと！安全管理も大切です。何とか人が乗れる形になりました。木のフレームなので何か不思議な雰囲気です。一人では難しくてもみんなで力を合わせれば結構できるものですね～！

次の学年のゼミでは、立ち乗りタイプをなんとか完成させました。オープンキャンパスでも展示、試乗体験をしていますので是非お越しください。



完成した座り乗りタイプのパーソナルモビリティ

## PICK UP!

ただきました。暑いので食品工学実習室で美味しくいただきました。



落花生の植え付け作業

過ぎ、楽しいランチタイムの始まりです！今日のメニューは、ビーフストロガノフ・バターライス添え、タンドリーチキンとサラダ、デザートはポインセベリーのブランマンジェです。外は暑いので食品工学実習室で美味しくいただきました。



サツマイモの植え付け作業

ツルの切れ端からサツマイモがなるなんて…なぜピーナッツのことを落花生と言うのでしょうか？花が咲いた後どうなるか畑に来て見てください。答えが分かると思います。サツマイモと落花生の収穫は秋です。

## 自然体験塾

平成30年度最初の体験塾を6月2日に行いました。河嶋先生指導のもと、生産工学科と情報デザイン学科の2年生の学生たちと落花生を植えました。こんな

## 情報文化学部

### ポップカルチャーひろしま 2018 に展示参加 ～2年連続でイベントポスターも～

「ポップカルチャーひろしま 2018」が今年も開催（主催：ポップカルチャーひろしま 2018 実行委員会、NPO音楽は平和を運ぶ）。6月16～17日に旧日本銀行広島支店や合人社ウェンディひと・まちプラザなどの会場に、世界12の国・地域からのコスプレイヤーも含め、5,402人の参加者が交流を楽しみました。情報デザイン学科の学生によるHKGキャラクタープロジェクトのメンバーも作品を展示。たくさんの方々と交流を深めました。なお昨年に続きイベントポスターも本学学生が制作。ポップカルチャーの分野でも学生が国際交流や地域貢献で活躍しています。



キャラクターデザイン  
ポスターデザイン

【イベントポスターデザイン】  
松本佳奈（工学研究科 2018年3月卒業 広陵高校出身）  
山本千晶（情報デザイン学科 4年 瀬戸内高校出身）

「ポップカルチャーひろしま 2018」ポスター



情報デザイン学科の作品展示コーナー

### 第17回広島国際アニメーションフェスティバル ～エデュケーショナル・フィルム・マーケットに展示参加～

世界的なアニメーション映画の祭典、第17回広島国際アニメーションフェスティバルが8月23～27日にJMSアステールプラザで開催されました。世界のアニメーション映像の上映プログラムと並んで、映像・アニメーションなどを学ぶ学生による作品発表と交流の場である「エデュケーショナル・フィルム・マーケット」も行なわれ、情報デザイン学科も出展しました。フェスティバル期間中、会場には世界中から著名なアニメーション作家や関係者、そして熱いファンが多数集まります。そうした場に身をおくことで、学生たちは、身体全体で大きな刺激を受けることができます。学生たちの今後の成長が楽しみです。

### 本通り商店街の変化を調査 ～フィールドワーク入門～

5月12日、現代社会学科「フィールドワーク入門」の1回目の野外調査を、本通り商店街・うら袋商店街で実施しました。商店街の店舗の変遷をテーマに、15年前と現在の商店街の店舗変化について調べました。参加した学生9名は、2003年の住宅地図と現地調査から、当時と現在の商店街の変化とその特徴について分析しました。今回初めてフィールドワークを体験する学生もあり、どのように調査するのが効率的で成果が得られるのか、グループごとに考えながら実施していました。これを機に、フィールドワークの楽しさを感じ取ってもらえれば、大変うれしいです。



賑わう本通りで調査する学生たち

PICK UP!

同法人は高齢化・兼業化・後継者不足などのため耕作放棄地が増えてきた中で設立されました。現在、地域の約70%の水田（約70畝）の利用権を集積し、5人のオペレーター（農業機械を操作する人）による生産性の高い米作りを行っています。

見学したゼミ生の一人、藤本龍輝さん（広島新庄高校出身）は、農業法人の役員の方々の献身的な努力が最も印象に残ったよううで、「本当に農業が好きで、村のために活躍していると思いました」と感想を述べました。ベトナム出身のゼミ生タムさんは、実家が稲作農家なので水田地帯を歩き、故郷をなつかしく思い出したようです。また、農業法人の最新鋭の多くの大型農業機械を見学し「すばらしい」と驚嘆していました。



地域社会と農業を守る取り組みを学ぶ

現代社会学科の山本ゼミ（3年生）は、6月9日に広島市の水田地帯の農業法人「農事組合 法人よしかわ」を見学しました。

東広島市の水田農業について学ぶ

地域・世界との交流が導く未来

## 総合教育センター

### 初年次セミナー

全1年生を対象に、本大学における学修・生活への円滑な移行を支援するための必修科目「初年次セミナーⅠ・Ⅱ」（前・後期）を開設しています。

第2・3週「大学生の学修と生活」では、社会における大学の位置づけや大学生生活の過ごし方、学修上の仕組みや用語、さらには本学院の建学の精神や本大学の教育理念などを学びました。

第4週「大学生と人権」では、広島人権擁護委員協議会から講師を迎え、「共生社会をめざして」をテーマとして、大学生として必要な人権に関する知識・認識を身につけました。

第5週からは学科別セミナー形式で実施され、所属学科で学ぶうえで必要な知識・技術・認識を身につけるための授業を行っています。また後期には、地域学修・キャリアデザイン・異文化体験といった幅広いテーマでの合同セミナーの実施も予定しています。



第4週「大学生と人権」

### 第1回女性セミナー ～ハーバリウムを作ってみよう！～

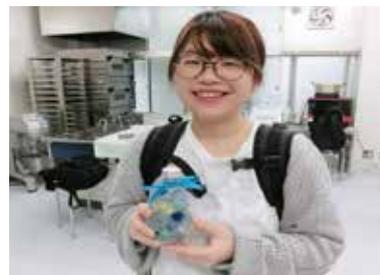


話題のハーバリウム作りを体験

5月23日に平成30年度第1回女性セミナー「ハーバリウムを作ってみよう！」を実施しました。本学非常勤講師の宮本博子先生にご指導いただきました。今回は34名の申込者の中から抽選で選ばれた15名の学生が参加しました。このセミナーは、今年で6年目を迎える女性セミナーの中でも、過去最高の人気になりました。

ハーバリウムの作り方は、まず用意された夏らしいブリザードフラワーとドライフラワーの中から各自が好みの花を選び、

透明な瓶の中にそれらの花を一本ずつピンセットで丁寧にに入れていきます。そのあと花のバランスや全体の色彩を確認して、パラフィンという液体を瓶に流し込み、再度、全体のバランスを整えて瓶の蓋を閉め、最後にリボンをつければ完成です。参加者の皆さんは、とても楽しそうに作業に取り組み、思い通りの作品を仕上げることができたようです。



可愛いハーバリウムができました

### 研究室紹介

### バイオの力をもっと活かそう ～環境浄化から農業利用まで～

工学部 生産工学科 佐々木 慧 研究室

バイオという取っ付きにくい、扱いづらいといった印象を持たれるかもしれませんが、実は我々の身近で当たり前のように使われている技術です。例を挙げるとお酒の醸造やパンやヨーグルトのような発酵食品の製造から、下水の浄化処理など活躍の幅は広いです。

当研究室では光合成細菌と呼ばれる微生物に注目し、これを活用する技術を研究しております。例えば、この細菌を土壌に撒くと作物の収量を増やしたり、ストレスに強くすることができます。この菌をどのように用いればより活用できるか、農作物の栽培試験を繰り返しながら探っています。またこの菌は汚れた水をきれいにする力もあります。この菌を様々な形態に加工して、より水の浄化能力を発揮させる技術も研究しております。他の研究機関や地元企業との共同研究も行っております。他にも広島市の原爆犠牲者の水質調査や、お酒の中の機能性成分の測定などもしております。興味を持たれた方は見学に来てみては如何でしょうか。



福島の汚染水を浄化処理する光合成細菌ビーズ（水槽中の赤い球）を用いた浄化槽

## 短期大学部

### 就職支援授業

毎年、就職支援授業として前期は「クルマの整備業」後期は「就職講座」を実施しています。1年生の2月から就職試験が始まるため、入学してから10ヶ月で受験先を決めないといけません。そのためには様々な企業の仕事内容や働き方を理解する必要があります。

各企業の採用担当者から「仕事の内容」、「学生時代に身に付けて欲しいこと等」また、卒業生から「今の会社に入社した理由」、「仕事をして良かったこと、つらかったこと」などについて、話をさせていただきました。さらに「実車による説明会」では、企業から借り受けた乗用車を展示し、「お客様対応及び点検デモンストレーション」や「最新技術の詳細」について学習をしました。参加した学生からは、夏休みから始まる「個別企業研究」に向けて、とても参考になったと好評でした。



「マツダ春のセミナー」の様様

クルマの整備業（前期）

企業名	講義内容
(株) アンフィニ広島	卒業までに身に付けて欲しいこと
(株) さんぼう	社会人の三大能力について
西尾レントオール(株)	建設機械の整備の仕事について
いすゞ自動車中国四国(株)	大型車の整備の仕事について
広島トヨペット(株)	乗用車の整備の仕事について
(株) スズキ自販広島	ゲームで学ぶ「仕事の基本」
(株) 広島マツダ他	「マツダ春のセミナー」

### 水無月祭

6月4日、学友会主催の水無月祭（サッカー大会）と学生生活指導委員主催の学生交流会を開催しました。

当日は、気温が高く雲一つない天候に恵まれました。競技がサッカーなので、教員は見学かと思いきや、学生の強い要望で教員も急遽、大会に参加することになりました。

大会が始まると、学生たちはコート内を走りまわり、軽快なフットワークで教員をかわしていました。大会は無事に終わり、賞品を受け取り、皆嬉しそうでした。

大会終了後は、恒例のバーベキューを楽しみました。運動した後の食事はとても美味しく、肉や野菜などをおなか一杯堪能しました。大会に参加した教員は、筋肉痛にしばらく悩まされることになりましたが、水無月祭、学生交流会を通じて教員や学生間のコミュニケーションを充実させることができた楽しい一日でした。



華麗な足技を見せる学生たち

PICK UP!

### 第3回 女子部同窓会（さくらの会）を実施

6月24日、ホテルニューヒロデンで第3回 女子部同窓会を開催しました。本短大では、これまでに150名以上の女子学生が卒業しています。今回は30名程の卒業生が集まりました。

海田町長をはじめ、学長、恩師、職員、同窓会役員など多彩な方々も来賓として列席しました。卒業生のお子さんも含めて80名以上が参加し、大賑わいでした。

今回のイベントではRCCの横山雄二アナウンサー、泉水はる佳アナウンサーのトーク&歌を披露していただき、会場は大いに盛り上がりました。その後ビンゴゲームと記念撮影を行い、無事に終了しました。短い時間ではありましたが、昔の思い出話や恩師との再会ができ、良い時間になったと感じます。

今回の企画にあたり、幹事をはじめ、多くの方の協力により実現しました。ありがとうございます。



女子同窓生の集まりは華やかに、賑々しく

知識と交友を力に前進

## 最後の最高の体育祭

普通科3年 住田 貴愛 (翠町中学校出身)

高校最後の体育祭は、例年と違って県立体育館で行いました。いつもの体育祭と環境が違い、どんな体育祭になるのか予想がつかなかったので不安でしたが、楽しみという気持ちもありました。実際、体育祭は大成功で、とても楽しく最高の思い出となりました。

私は、クラス対抗長縄とびとリレー、盆踊りに出場しました。まずクラス対抗長縄とびは、私たちのクラスは、体育祭の授業の回数が少なく、他のクラスより練習回数が少なかったため、とても不安でした。結果は、42回で良い結果とは言えませんが、数少ない練習で42回跳べたことはすばらしいことだと思います。

また、42という数字はクラスの人数で、連続で引っかからずに一周できたので、私は満足です。そして引っかかった人を誰も責めないこのクラスのことがもっと好きになりました。次に、リレーでは、3年連続で出場しましたが、やはり吐きそうなくらい緊張しました。それでも予選を突破し、決勝に進むことができました。そしてみんなが頑張ってくれたので、総合2位になることができました。予選も決勝も応援してくれたクラスのものにも感謝です。最後



初の屋内開催となった体育祭



浴衣姿も愛らしく、凛々しい盆踊り

後に3年生の一番の見せ場である盆踊りは、一番の思い出になりました。生徒だけでなく先生も浴衣を着て踊りました。みんな可愛く、かっよかったです。みんなで踊る盆踊りはとても楽しくて、もうみんなで浴衣を着て踊れないと思うと寂しいです。でも、その分、最高の思い出になりました。高校最後の体育祭がこんなに楽しくて、とても良い思い出になったのは、先生や生徒会、放送部、保護者といった体育祭の運営に関わった全ての皆さんのおかげだと思うので、感謝の気持ちでいっぱいです。この思い出は一生忘れません。



カッター研修

## 集団合宿

総合学科1年 大村 凜花 (海田西中学校出身)

入学して1か月少し経ち、私たちは集団合宿に行きました。私は集団合宿に行く前、カッター訓練はどんなものか、他のクラスの人と話せるのかという不安の気持ちでいっぱいでした。だからこの合宿では、他のクラスの人と仲良くなること、最後までやりきることを目標にしました。理由は、私は人見知りなので、いつも話しかけてくれるのを待ってしまい、黙ってしまうからです。だからこそ、自分から積極的に話しかけて、仲良くなりたいと思い、

この目標にしました。そのために私は、一生懸命にするのはもちろん、時間を守ることや挨拶をするなど、当たり前のことを心掛けました。しかし、次はどこに行って、何をするか、しおりを見たらわかることなのに、友達に頼ってしまったとき、自分で考え、行動することができていないと感じました。だからこれからは、本当に頼る必要があるまでは、友達に頼らず、ちゃんと自分で頑張ろうと改めて思いました。

集団合宿を通して、成長したことは、きついと思ったときこそ、困っている人に声掛けをして自分も頑張ろうとすることです。自分だけではなく、周りの人もきついと思っている状況で、すぐに弱音を吐くことはやめようと思います。

今回の目標は、他のクラスの人と仲良くなることと最後までやりきることでした。自分から、他のクラスの子に話しかけることができ、やるべきことは最後までやりきることでできたので、目標を達成することができました。集団合宿に来て、たくさんの人と話したり、たくさんのことを学んだりすることができたので、よかったです。



みんなでいただく食事楽しい

## 第30回定期演奏会を終えて

6月18日に本校吹奏楽部の第30回定期演奏会が開催されました。30回目の記念ということで、長年本校の吹奏楽部を指導していただいている作曲家の小長谷宗一先生を指揮者としてお迎えし、難曲に挑戦しました。

第1部はクラシックで、小長谷先生作曲の『グランド・マーチ』や今年のコンクール自由曲のレスピーギ作曲「バレエ組曲『シバの女王ベルキス』」をドラマティックに演奏しました。第2部では、平成を振り返るという企画で、映画音楽やディスク音楽などバラエティに富んだステージを披露し、中でも『ダンシング・レボリューション』で本校のダンス同好会がすばらしいパフォーマンスで魅せ、拍手喝采を浴びました。また、『フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン』では国際名物タップダンスを踊りました。『タイタニック』や『ジュラシック・パーク』ではプロジェクション・マッピングで恐竜や波がステージに映し出され、観客を驚かせました。この演奏会を開催するにあたり、多くの方々から多大なるご支援をいただきました。この場を借りて感謝したいと思います。



プロジェクション・マッピングも駆使した演奏



アンさんと国際交流員の生徒たち

### ●シンガポール国立大学生との交流

5月25日、シンガポール国立大学生アン・ウェイリンさんがインターシップ就業体験の一環としてやって来ました。2時間目、総合学科3年2組と交流。まず生徒たちから手品が披露され、アンさんはそのうまさに驚いていました。3時間目は、普通科1年1組の生徒たちと英語でフルーツバスケットに挑戦。生徒は英語で文章を考え、懸命に発話していました。4時間目は国際交流員の生徒たちとの交流で、アンさんからシンガポールに関するプレゼンを聞きました。生徒は多くの質問をしていました。昼からは普通科2年生の選択授業、スポーツ科学に参加し、一緒にダンスをしました。英会話の授業では、生徒たちがアンさんに英語で質問していました。1日だけでしたが、交流した生徒たちは年が近い大学生のアンさんに大いに刺激を受けたようです。

### ●留学生梓さんが台湾についてプレゼンしました

台湾からの長期留学生・梓さんが、台湾修学旅行に参加する生徒たちに、台湾に関するプレゼンをしました。観光名所や食べ物、お土産について話し、生徒たちは興味津々に聞いていました。7月21日に帰国した梓さんですが、現地でまた再会できる日を楽しみにしています。



級友たちとサイクリングに参加

少しどんよりした6月中旬、1型のみinnで中央森林公園、八天堂に遠足に行きました。私は、部活動や日々の生活が忙しくなる中、この日をとても楽しみにしていました。

私は中央森林公園でのアクティビティでサイクリングに参加しました。最初は雨が降っていましたが、その雨のおかげで森や地面が光っていて森の香りがしました。からだいっぱいにと風が通り、気持ち良かったです。大きな広場に着くとサイクリングに参加した生徒全員で写真を撮りました。

先生が広島空港から出発しようとしている飛行機を背にタイミングぴったりで集合写真を撮ってくださいました。みんなの気持ち良さそうな表情に、私も嬉しくなりました。

昼食は、班に分かれてバーベキューをしました。根気強く火の面倒を見てくれる人、焼くばかりで食べていない人がいないか気遣ってくれる人、通りがかりの猫と遊ぶ人、みんなが笑ってしまうようなトーク術を持つ人、片付けを率先してやってくれる人など、普段教室ではあまり話さない友だちとの距離がぐっと縮まった気がして、何とも言えない、ほっこり感で満たされました。

この日私はほっこりしたまま家に帰りました。こんな気持ちになれたのは、なんでも楽しく一生懸命やるみんなのおかげだと思います。大切な人がたくさんいることを改めて実感した一日でした。

国際交流

すてきな発見

普通科2年

金谷 春花

(宇品中学校出身)



## 中学校の開校に向けて

今年の3月から広島国際学院中学校（認可申請中）のさまざまな情報を高等学校ホームページのみならず、チラシ、説明会、オープンスクールなどを通じて公開してきました。国際社会が急速にグローバル化する中、真に通用する学力と人間力を育成する6か年教育を行うことを願い、教育の構築と広報活動などに全力を尽くしております。是非とも、新しい中学校また今まで類を見ない6か年教育にご興味のある方がおられましたら紹介してあげてください。

## 学校要覧・教育内容の一部紹介

開校予定の中学校は男女共学80名募集をします。また広島地区では他にはない完全週6日制、つまり毎土曜日を課業日とします。したがって、公立中学校の授業時間数と比較すると、例えば英語は1.7倍、数学1.6倍、国語1.3倍、理科1.3倍となっています。しっかりとした学力を身につけ、大学入試制度改革に対応できる力を習得します。また総合学習（百践練磨と呼んでいます）は2倍以上の時間数で圧倒的な経験値を身につけます。



## 百践練磨について

土曜日の4時間はすべて総合学習（百践練磨）とし、単なる座学ではない、教科横断的な実学演習をします。これからの生徒が将来出会うだろうさまざまな異文化、テクノロジー、社会の変化に対応していくための、モノの“見方”、“考え方”、“伝え方”を経験、習得するとともに、社会で生き抜く知恵や挑戦する心も鍛えていきます。現在予定している内容は、“旧跡でのガイド”、“アナウンススキルの習得”、“農業体験”、“生物の育成・養殖”、“企業・大学訪問”、“サマーキャンプ”、“IoTプログラミング教育”などです。



# 広島国際学院レポート

## 教育実習

大倉 優加（食農バイオ・リサイクル学科4年 広島国際学院高校出身）

私は、母校の広島国際学院高等学校で3週間教育実習をさせていただきました。長いようで短かった実習ではさまざまな体験をしました。この3週間の実習を通して、授業を行うことの難しさや授業準備・教材研究の大切さを実感するとともに、自分自身の指導案や授業に対する認識の甘さを痛感しました。そして、不十分な指導案に対して最後まで何度も助言をいただいたことで、多くのことを学びました。



生徒を指導する大倉さん(中央)

一方で、同じ理科の先生、さらには他教科の先生方からも教育に対する考え方や熱意についての話を聞く機会があり、自分自身の教育実習に対する姿勢や言動にもアドバイスをいただきました。また、学生の時には気づかなかった先生方の職員室での様子を拝見し、生徒がいないところでは、学年ごとの学科や教科の先生方で集まっての小会議を行ったり、このクラスではこういった指導方法をやっているという指導方法の検討、さらには、教科担当クラスについて他教科の先生方と意見交換をされていることを知りました。

教育実習は3週間という短い間でしたが、非常に有意義な時間を過ごすことができました。そして、自分の力不足を感じるとともに、この経験を通して教師になりたいという思いがますます高まりました。校長先生、教頭先生、実習担当の先生方をはじめ皆様大変お世話になりました。おかげさまで無事教育実習を終えました。この実習で学んだことを生かして、教師になれるようこれからも励んでいこうと思います。

## 留学生交流会

留学生会会長 マーニャトミン（生産工学科3年 ベトナム出身）



挨拶をする田中理事長

毎年、留学生会は留学生交流会を主催します。今年は私が会長となり、何をすれば良いか等色々悩みましたが、みんなに協力してもらって留学生交流会を成功させることができました。

留学生交流会に参加する留学生が昨年よりたくさん増えたので、どんどん楽しくなって来たと感じています。みんなと一緒に料理を作って、食べました。様々な国の料理がありました。日本、ベトナム、中華料理があつてとても美味しかったです。また、みんなと一緒に、グループに分かれて、ゲームを楽しみました。勝ったチームでも、負けたチームでも最高のプレゼントをもらえます。勝敗のことより

団結・協力が一番重要だと思います。

留学生交流会のおかげで、国々の文化、宗教と言語の距離がなくなって、みんなで繋がって、一緒に楽しんで、いいことを勉強することができます。そして先生たちも交流会に参加して一緒に楽しんでもらえ嬉しかったです。授業では先生が教えて学生が勉強するだけで、あまり話す機会がありません。今回、交流会では先生たちと学生たちが勉強以外のこと、将来のことや生活のことや就職のことなど様々な話しができて嬉しかったです。来年時間があれば、もっと、もっと楽しい留学生交流会を成功させたいと思います。



国別対抗のジェスチャーゲーム。名演技と珍回答で会場は爆笑の渦に

## 漢城大学校との学術交流協定を締結



李木学長（左）と李総長（右）

2018年5月19日、本大学は大韓民国 漢城大学校との学術交流協定（MoU）を締結いたしました。この協定は、2013年2月から漢城大学校芸術大学（日本では学部に対応）と本大学情報デザイン学部（現在の情報文化学部）との間に結ばれていた学部間学術交流協定を、大学間に拡大したものです。漢城大学校の李相翰（イ・サンハン）総長と、本大学の李木経孝学長との間で協定書への調印が行われた後、短時間ですが両大学の将来をテーマに歓談をいたしました。

漢城大学校は、大韓民国ソウル特別市の中心部である光化門広場から3kmほど東に位置する総合大学です。京城女子技芸学校を母体として1945年に設立され、「真理」と「至善」を建学の理念として掲げております。現在では電気・電子工学、機械工学、情報工学、デザイン、アート、政治学、経済学など、幅広い分野の教育を行っています。

前述の学部間学術交流協定の締結以後、様々な交流が行われてきました。毎年行われる本大学情報文化学部情報デザイン学科の卒業制作展では、漢城大学校芸術大学視覚映像デザイン専攻、およびアニメーション・プロダクトデザイン専攻の学生の卒業制作の中から優秀作品を展示しております。また、情報デザイン学科の卒業生が製作した映像作品も、アニメーション・プロダクトデザイン専攻の卒業制作発表会にて上映されております。学生同士の交流も実施されており、2013年、2015年、2017年のアニメーション・プロダクトデザイン専攻の卒業制作発表会には本大学情報デザイン学科の学生が参加いたしました。漢城大学校からも2014年に7名の学生が本大学を訪問しております。

このような交流の中、学部間協定の締結に大きな貢献をいただいた漢城大学校芸術大学の金孝勇（キム・ヒョヨン）教授から、大学間の協定に拡大することでより深い交流を結んでほしいという提案をいただきました。その後本大学の李木学長の承認を経て、漢城大学校国際教育院長の金承天（キム・スンチョン）教授のご助力をいただき、大学間の交流協定の調印に至りました。

本協定の締結をきっかけに、従前より交流してきた情報デザイン分野だけでなく、電気・情報・機械工学、ならびに社会学の分野でも両大学の学生・教員間の交流が活発になり、本大学の名にふさわしい国際的な活動に発展していければと思います。



漢城大学校

**学校法人広島国際学院記念行事について** 昨年、学校法人広島国際学院並びに広島国際学院高等学校は創立90周年を、広島国際学院大学は創立50周年を迎えました。また今年は高等学校校舎、体育館、ホールが完成しました。来る10月21日には高校新校舎落成式と創立記念行事を開催いたします。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

**西日本豪雨災害における本学院の被害状況について** 7月の西日本豪雨災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。大学および高等学校では、校舎・グラウンドの一部が浸水しましたが現在は復旧しています。系列校授業も、夏休みを繰り上げるなどして現在は再開しています。

	9月	10月	11月	12月	1月
学院			1 創立記念日		
大学	10 前期末試験（～13）	6 第51回高城祭（～7）	17 推薦入試	24 冬季休業（～1/8）	9 授業開始
	20 後期授業開始	21 球技大会			19 大学入試センター試験（～20）
	29 ミニオープンキャンパス	27 ミニオープンキャンパス			
短大	10 前期末試験（～11）	6 保護者懇談会	3 推薦入試	1 推薦入試	8 授業開始
	15 スペシャルオープンキャンパス	20 オープンキャンパス	17 オープンキャンパス	1 オープンキャンパス	10 合同企業研究会（～11）
	25 後期授業開始			25 冬季休業（～1/7）	19 オープンキャンパス
高校	16 オープンスクール（～17）	10 [2年] 中間考査（～13）	17 文化祭（～18）	6 期末考査（～12）	22 後期末試験
		15 [2年] 修学旅行（～19）		20 終業式	7 始業式
		16 [1・3年] 中間考査（～19）			

●この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。 <http://www.hkg.ac.jp/>

●高校生以上の方に図書館を開放しています。詳細は図書館までお問い合わせください。 TEL:082-820-2536

発行/学校法人 広島国際学院 法人本部  
編集協力/学生広報スタッフ  
住所: 〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目20-1 電話: (082)820-2345